

令和5年度不動小学校授業改善プラン

第5学年

	課 題	解決のための手だて
国 語	【領域：情報の扱い方に関する事項】 ○説明文の読み取りの際、情報と情報との関係について理解し、中心となる語や文を見付けて要約すること。	・説明文の学習では、まずは自分で段落ごとに内容を短い言葉で表し、内容ごとに序論・本論・結論に分けてノートにまとめるようにさせる。自分でまとめたものを友達と共有させ、そこから筆者の考えをまとめ、自分で要約するようにさせる。その際、解決の難しい児童には必ず入れるキーワードを示したり、書き出しの言葉を指定したりする。
	【領域：話すこと・聞くこと】 ○相手に伝わるように事例を挙げて話したり、聞いた意見の共通点に着目して考えをまとめたりすること。	・スピーチを国語の学習時間だけでなく不動タイムなどを活用して定期的に行い、自分の思いを話す機会を設定する。また、聞いた内容をまとめたり感想を書いたりするようにする。
算 数	【領域：図形】 ○四角形を基にして、複合図形の面積を求めることや cm^2 と m^2 の換算すること。	・三角形や四角形の面積を求める時、いろいろな考え方を大切に扱う。その際に補助線を引いたり、図形の性質を考えたりして、求積させる。 ・面積だけでなく、長さやかさなどを換算する時は、体感したり、学習用情報端末を活用したりすることで視覚的に理解させる。
	【領域：数と計算】 ○小数や分数の計算は定着しているが、数直線等で小数や分数の大きさを表すこと。	・小数や分数の計算の導入では、図や言葉を用いて数の大きさが実感できるように工夫させる。
理 科	【領域：生命・地球】 ○雨水のゆくえと地面のようすや水の循環について理解すること。 ○水の蒸発が起こりやすい条件を理解したり判断したりすること。 ○正しい実験の結果の予想をするのに仮説を用いて行うこと。	・生活経験値に個人差が見られるため、実際に体験（観察）や実験を多く取り入れて、経験に基づいた知識・理解の定着を図る。 ・実験を行ったり映像を見たりして定着を図る。

社会	【領域：国土の自然などの様子】 ○世界の主な国の国旗や位置を理解すること。 ○地形によって違う日本の気候について雨温図をもとに読み取ること。	・日頃から地図を見る習慣を作る。例えば、教室に世界地図や地球儀を置いたり、ニュースなどで話題になった国について地図帳で国の位置を確認したりする。 ・雨温図など、資料から分かることをまとめる活動を取り入れる。
外国語	【領域：読むこと、書くこと】 ○4本線上に正しくアルファベットを書くこと、小文字の字形を覚えること。 ○単語の文字情報と音声情報を一致させること。	・単元末の Writing Activity にて、選択肢から選んで写す活動と、4本線上に正しくアルファベットをなぞり書きする活動をこれまでより多く取り入れる。 ・フラッシュカードを用いた文字情報付きの単語導入を行うことで、単語の文字情報と音声情報を一致させる。